

T I P S (ショウジョウバエ通信15号より 1998.10月)

花井 修次 (筑波大学・基礎医学系・生化学)

1 . < 実験台の角あて > ~ 肘掛けと落下防止

長時間実体顕微鏡に向かうと、肘の外が痛くなる。そこで、実験台の手前の角にウレタンのカバーを付けてみた。エアコンの配管カバーなどで外径3センチ、内径1.5センチ位のパイプ状 (切れ込みがある) のモノ。これを半分に切り開き、角にフィットするように少々細工して貼り付けた。

肘のクッションとしては十分、ところが意外な事に気がついた。ペンや刷毛といった小物が落ちるのを防ぐ効果がある！ 手前ぎりぎりに小物が置けるので非常に便利になった。研いだピンセットなどが触れても傷み難いだろう。

2 . < ネコのひげ >

刷毛の反対側に適当に切ったネコのひげを付けた。刷毛で分けた後に、一匹一匹転がしながら観察するときなど便利。弾力があり強く押しても金属の針のようにハエが潰れない。

3 . < エアガン内蔵式CO2麻醉台 >

良くあるようにチップ箱で麻醉台を作った。従来はボンベからの配管を分岐しエアガンと麻醉台に振り分けていたが、麻醉台へのチューブの先端を青チップにして着脱可能にした。まずバイアルに青チップを挿して麻醉し、次に青チップを麻醉台に差し替える。エアガンを持ちかえる手間もなく操作が滑らかになった。また、管が麻醉台から外れるとハエを捨てるときなども何かと便利。

4 . < 煙草用フィルターで吸虫管のヘッド >

煙草用フィルター (10個入り100円が一番安い) を吸虫管の吸い口側に付けた。平たいので口当たりがよく、毎日でも交換できる。ゴミやハエの糞を吸い込むこともない (短い吸虫管を使っているためゴミが口に入りやすかった) 。なお、流れが悪いので内部の詰め物を1/3 ~ 1/4に切り詰めた。シリコンチューブとのジョイントは切った青チップかパスツールピペットで可。